



# 小川中だより "燦々"

自主性  
敬意  
愛

No. 35 平成31年2月8日(金)発行 文責：いわき市立小川中学校長 津田 直人

## <新人駅伝大会で奮闘>

先週の2月2日(土)に、いわき市中学校新人駅伝大会が21世紀の森公園内で行われました。男女1チームが出場し、最後まで粘り強く走り抜きました。結果は、チーム目標までもう一步(男子12位、女子23位)でした。今年の9月には本大会があります。その日に向けて、再度、自分の目標・チームの目標を設定し、練習に励むことを期待しています。



男子アンカー大接戦



女子1区から2区へ



2区から3区へ



3区から4区へ



4区からアンカーへ



アンカーゴール



男子1区から2区へ



2区から3区へ



3区から4区へ



4区から5区へ



5区からアンカーへ

## <県立I期選抜の結果>

1月31日(木)、2月1日(金)に実施された県立高校I期選抜試験の合格内定通知が、今週の5日(火)にありました。小川中学校からは、10校12学科に46名の生徒が挑戦しました。残すところは県立II期選抜試験となります。現在、県立II期選抜の出願準備を進めていますが、小川中学校の出願予定日は2月14日(木)です(締切は2/18[月]正午)。

受験も終盤を迎え、私立高校や福島高専、県立I期選抜等で進路が決定した生徒もいます。進路が決定した皆さんには、最後まで勉強に励んでいる友だちを応援するとともに、学級生活の中で自分ができることを見つけ、自主的・自発的に活動してほしいと思います。

県立II期試験に向かう生徒の皆さんは、試験日まで約1ヶ月となります。一番大事なことは健康で、ケガなどせずに万全の態勢で当日を迎えることです。そのために、規則正しい生活を心がけ、落ち着いて生活することです。最後まで粘り強く学習に励み、希望する進路をつかみ取ってほしいと思います。

## <高校生等へのふたつの支援について>

先日、高等学校に進学する生徒を対象とした国の支援に関するチラシを、3年生を対象に配付しました。この支援を利用するには「申し込み」が必要となります。とても大切なお知らせですので、必ず確認をお願いします。この支援の概要は次のとおりです。(裏面)

<国のふたつの支援> 問い合わせ先は県教育委員会またはいわき教育事務所

①高等学校等就学支援金…高校の授業料の支援

- ・対象世帯→年収目安が約910万円の世帯
- ・給付額 →学校種、所得による

国公立高校は授業料負担が実質0円

私立高校は保護者の所得によって決定

- ・申し込み→高校入学後の4月に高校から案内
- ※聞き漏らさないように注意

②高校生等奨学給付金…高校の教科書費・教材費などを支援

- ・対象世帯→生活保護・住民税非課税世帯
- ・給付額 →学校種、世帯状況による

※詳しくはチラシで確認

- ・申し込み→保護者が行う
- ※毎年7月頃に手続きする

## <第63回県書きぞめ展で入賞>

先日の新聞でも掲載されていましたが、今年度の県書きぞめ展に小川中学校から出品した作品の中から、3年生の1名と2年生の1名の合計2名が、書きぞめ奨励賞を受賞しました。また、学校としても学校賞を受賞することができました。

3年生は「真理追究」、2年生は「雪中梅花」が課題でした。書きぞめ奨励賞となった二人には、賞状と盾が贈られます。また、学校賞にも同じく、賞状と盾が贈られます。なお、二人の作品は、2月3日(日)～9日(土)の期間で、福島県教育会館(福島市上浜町10-38)で展示されます。時間は9時から16時の間です。

## <小川地区地域学校保健会を開催>

1月29日(水)に、平成30年度の小川地区地域学校保健会が、小玉小学校を会場に開催されました。この会は平成21年から始まったものです。

今回の会議では、今年度の取り組みについて、報告や協議が行われました。報告では、各学校の健康課題(歯科関係)と地域の検診結果(歯科)について、小玉小学校養護教諭と地区保健センター保健係長から状況が報告されました。その報告の中で、小学校で未処置菌のある児童の割合が高いことが課題としてあげられました。

協議では、「歯みがき習慣を身につけるためにはどうしたらよいか」というテーマで話し合いを行い、各学校や家庭の状況や課題等を踏まえ「寝る前にしっかり磨くこと」や「大人も一緒にしっかり磨くこと」など、大切なことを確認し合いました。最後に指導として、いわき市保健福祉センター歯科衛生技師の柳井香織理さんから、お話をしていただきました。お話の概要は次のとおりです。

### <歯科衛生技師 柳井先生のお話>

- ①福島県はむし歯保有率が高く、3歳児や小学校1年生では、全国ワースト1になったこともある。(平成30年度のむし歯保有率速報値では、幼稚園42.4 [35.1]、小学校57.9 [45.3]、中学校43.1 [35.4] ※数値は%で [ ]内は全国平均値)
- ②一度むし歯になったら、もとの状態には戻らない。自然治癒はない。
- ③大切なのは第一次予防。むし歯にしないこと。
- ④口呼吸による弊害は、歯肉炎やその他の病気、出っ歯。
- ⑤乳幼児期に、歯みがきを約束ごととして行わせることで、習慣化させる。その際、ほめる、認めることがポイント。
- ⑥今日の汚れは、今日のうちに。台所の三角コーナーの掃除と同じ。放っておくと菌が増殖。
- ⑦どうして歯が大事なのか、歯は人生の縮図だから。
- ⑧知識として理解し、信念(考え方)とし、行動(実践)する。
- ⑨歯みがきのポイントは、歯と歯茎の間・歯と歯の間・奥歯の溝を、短いストロークで、力を入れずに、マッサージするように。
- ⑩今は、ほとんどの歯磨き粉はフッ素化合物が入っているので、使った方がよい。ブラシの1/3程度でよい。
- ⑪定期検診を受け、定期的にプラークを除去することが大事。プラークは細菌の集まり。
- ⑫乳歯がむし歯になると、むし歯菌が多い状態の中に柔らかい永久歯が生えてくるので、すぐにむし歯になる。生えてきた時点でむし歯になっていることもある。

口腔内の衛生環境が様々な病気に関連していることが、最近の研究などで言われています。私自身も30代まではよく口内炎ができていましたが、歯みがきの指導を受けて、それを実践していった結果、口内炎が全くできなくなりました。特に大事だと言われたのが、磨き方と寝る前の歯みがきです。将来にわたって「自分の歯」を残すためにも、続けることが大事です。

## <市中学校美術展の開催>

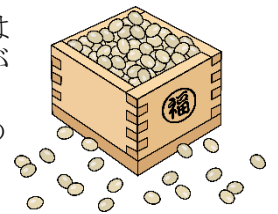
2月9日(土)から12日(火)にかけて、いわき市中学校美術展が、ラトブ6階企画展示ホールで開催されます。時間は9:00~16:00(最終日は13:30まで)です。

小川中学校からも生徒の作品が出品されていますので、ラトブにお寄りの際には、是非、足をお運びください。

## <2月4日は立春>

今週4日(月)は、二十四節気の一つである「立春」でした。この立春は春の始まりとされ、春風とともに寒さがやわらぎ、地中に冬ごもりした虫が動きはじめるなど、万物が春の装いを新たにす時期です。

立春の前日を「節分」と言い、豆まきを行います。節分とは季節の変わり目の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日にあたります。特に、立春の前日の夜に、鬼打ち豆をまいたり、柊(ひいらぎ)の枝に鯛(いわし)の頭をさしたものを戸口にはさんだりして、邪気を払う習慣があります。



### 来週の予定

月 日	曜日	給食	おもな行事
2月11日	月	△	建国記念の日
2月12日	火	○	集金日 期末テスト前部活動中止
2月13日	水	○	短縮日程 専門委員会(5校時) 期末テスト前部活動中止
2月14日	木	○	期末テスト前部活動中止 県立Ⅱ期出願
2月15日	金	○	1・2年期末テスト 3年学力テスト
2月16日	土	△	いわき志塾(中央台公民館)